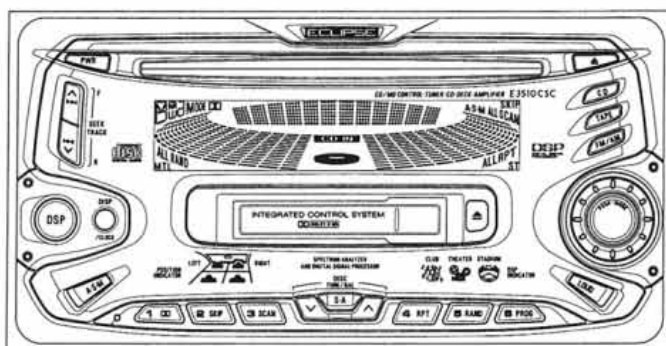


ECLIPSE

マルチコントロール CD/カセットメインユニット
for TOYOTA

E3510CSC

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この『取扱説明書』をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

なお、本書ではコンパクトディスクをCD、ミニディスクをMD、CDおよびMDを指す場合はディスクと表記しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機はDC12V⊙アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
火災などの原因となります。
- 自動車の運転中にディスクやカセットの交換をしないでください。
事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
大きな事故や窒息死の原因となります。
- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。
このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

警告

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。

注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
 - ディスクまたはカセット挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
 - ディスクまたはカセット挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
 - 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
 - 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
 - 本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機を分解、改造しないでください。
万一不具合が生じた場合には、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆（視力の低下の原因）をもたらしたり、事故の原因となることがあります。
-

目 次

使用上のご注意	5
本機をお使いになるうえでのお願い	5
CDについて	7
CDの清掃	10
カセットテープについて	11
ヘッドの清掃	12
各部の名称	13
基本操作	14
電源を入れる/切る	14
CDを聞く	14
カセットを聞く	15
ラジオを聞く	15
音量を調節する	16
その他	16
CD部の操作	21
CDを聞く	21
次の曲に進む/曲の頭に戻る	22
曲の始まりを演奏する(SCAN)	22
繰り返し演奏する(REPEAT)	22
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	23
CD演奏時の表示を切り換える	23
CDを取り出す	24
カセット部の操作	25
カセットを聞く	25
早送り/巻き戻しをする	25
ドルビーBで録音されたテープを使用する	26
無録音部分を早送りする	26
繰り返し演奏する(REPEAT)	27
テープ走行を反転させる	27
自動選曲を行う	28
カセットを取り出す	29

チューナ部の操作	30
ラジオを聞く	30
自動的に放送局を記憶させる	31
手動で放送局を記憶させる	33
FM放送について	34
DSP/EQの操作	37
DSPの操作	37
EQの操作	38
(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作	40
CDに切り換える	40
次の曲に進む/曲の頭に戻る	40
曲の始まりを演奏する(SCAN)	41
繰り返し演奏する(REPEAT)	41
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	41
次のCDに進む/前のCDに戻る	42
表示を切り換える	42
(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作	43
MDに切り換える	43
次の曲に進む/曲の頭に戻る	43
曲の始まりを演奏する(SCAN)	44
繰り返し演奏する(REPEAT)	44
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)	44
次のMDに進む/前のMDに戻る	45
ディスクタイトルや曲名を表示する	45
表示を切り換える	46
困ったときは	47
インフォメーションが点滅する	48
仕様について	53
アフターサービスについて	55

◆ 使用上のご注意



警告

走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い



- ・ 安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。
- ・ このCDデッキは左のマークのついたCD以外は使用できません。

- ・ 再生中の異常に注意してください。再生中に急に音の調子が変わったり、その他異常を感じたときはただちにイジェクトボタンを押して再生を停止してください。



- ・ ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。



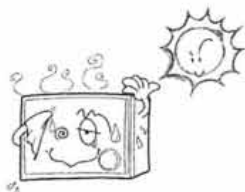
- ・ カセットテープ挿入口には、カセットテープおよびカセットテープクリーナー以外のものを絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。



- ・ 悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる（音とび）ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・ 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露(水滴)が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりします。ので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



- ・ 車内の温度に気をつけてください。カセット部は、極寒や極暑の影響を受けやすいため、カセットを聞く場合は、車内の換気や温度調整に注意し、適温で使用してください。また、夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてから本機をお使いください。



- ・ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



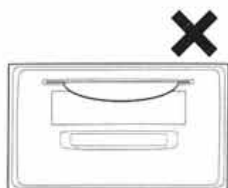
- ・ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

CDについて

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザ光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



- ・ ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。そりの原因になります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



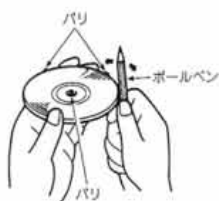
- ・ 信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけないようにしてください。
- ・ CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



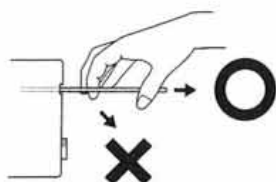
- ・ ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



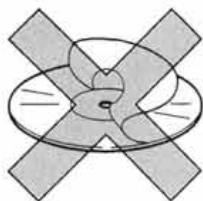
- ・ 信号面に触れないように取り扱いってください。



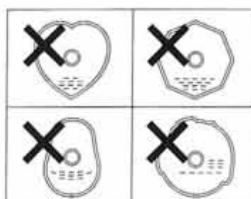
- ・ 新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部にバリがあることがあります。バリがついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリがついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中にバリの破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



- ・ 本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



- ・ 音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は、使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- ・ ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



- ・ 本機では、8cmCDをアダプターなしで再生できます。
- ・ 8cmCDにシングルアダプターを付けてディスクを再生すると、誤動作することがありますので使用しないでください。

CDの清掃



- ・ ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



- ・ ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



- ・ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

カセットテープについて

- ・ C-120(120分用)のテープは極めて薄いため、テープが伸びたり、テープの巻き込みなど故障の原因となりますので、ご使用は避けてください。

- ・ カセットテープの使用回数が増えると、テープの巻きかたが不揃いになって、リールが回りにくくなることがあります。これを使用すると、再生の途中でテープの走行が反転することがあります。

これはテープが止まって終端検出装置が作動するため故障ではありません。このようなカセットテープは、回りにくいリールからテープを引き出し、反対側のリールに正しく巻き直してからご使用ください。



- ・ たるんだテープも巻き込みなどの故障の原因になります。この場合はテープのたるみを締め直してからお使いください。



- ・ ラベルがはがれかかっているときは、はり直してください。そのまま使用しますとイジェクト不良など故障の原因になります。

- ・ カセットテープに紙やラベルなどを貼らないでください。カセットテープの挿入困難、排出不完全になることがあります。



- ・ カセットテープは磁気のあるものの近くには置かないで下さい。音質が悪くなります。またカセットテープは直射日光にあてないでください。高温多湿の場所もさけてください。



- ・ ストッパー(たるみ止め)をご使用の場合、ストッパーを入れたままカセットテープを挿入しないよう注意してください。



- ・ テープ面に触れたり、引き出したりしないでください。また、ほこりがテープにつかないよう、ケースに入れて保管してください。

ヘッドの清掃

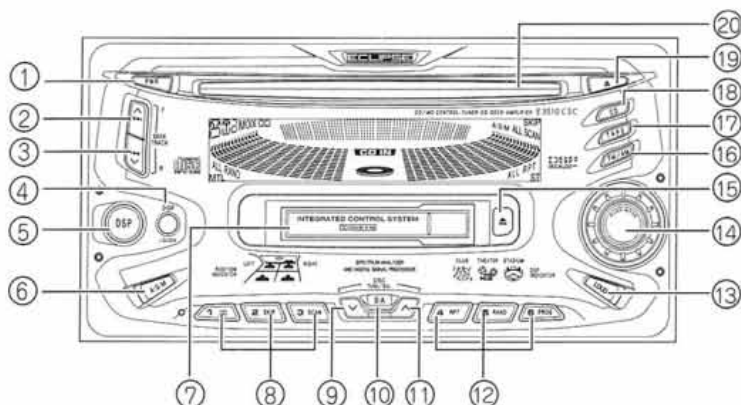


- ・ ヘッドは音を取り出す大切な部分です。この部分が汚れてくると、音質の劣化や雑音が出たりします。

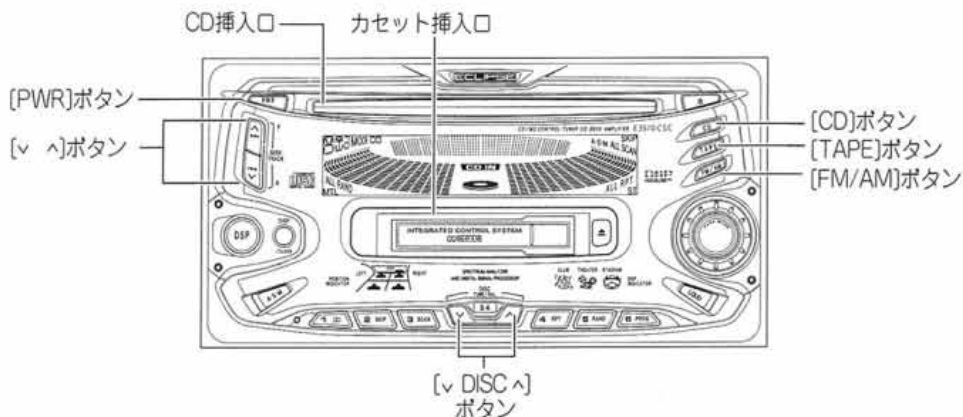
いつもよい音を楽しむため、月1回(または約20時間ご使用ごと)は別売のクリーニングカセット(湿式)でヘッドクリーニングしてください。なお、ご使用に際しては、クリーニングカセットの説明書をよくお読みください。

◆ 各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。詳細は、各操作の説明を参照してください。(CD部の操作 21ページ、カセット部の操作 25ページ、チューナ部の操作 30ページ、DSP/EQの操作 37ページ)



- | | | |
|-----|----------------|---|
| ① | PWRボタン | 本機の電源を入れるときや切るときに押します。 |
| ② ③ | V ▲ボタン | ラジオの自動選局やCDの選曲などを操作するときに押します。 |
| ④ | DISPボタン | 時計などの表示を切り替えるときに押します。 |
| ⑤ | DSPボタン | DSPなどのモードを切り替えるときに押します。 |
| ⑥ | A・S・Mボタン | ラジオの放送局を自動で記憶させるときに押します。 |
| ⑦ | カセット挿入口 | カセットテープを挿入します。 |
| ⑧ ⑫ | 番号ボタン | ラジオのプリセットチャンネルやCDの機能などを操作するときに押します。 |
| ⑨ ⑪ | V DISC ▲ボタン | ラジオの放送局を選ぶときや、カセットテープなどの早送りや巻き戻しをするときに押します。 |
| ⑩ | S・Aボタン | スペアナ表示を切り替えるときに押します。 |
| ⑬ | LOUDボタン | ラウドネスを設定するときに押します。 |
| ⑭ | オーディオコントロールボタン | ボリュームを調整したり、その他の機能を操作するときに使います。 |
| ⑮ | カセットイジェクトボタン | カセットテープを取り出すときに押します。 |
| ⑯ | FM/AMボタン | ラジオを聞くとときやFM、AMを切り替えるときに押します。 |
| ⑰ | TAPEボタン | カセットテープを聞くとときに押します。 |
| ⑱ | CDボタン | CDを聞くとときに押します。 |
| ⑲ | CDイジェクトボタン | CDを取り出すときに押します。 |
| ⑳ | CD挿入口 | CDを挿入します。 |



◆ 基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■ 電源を入れる/切る

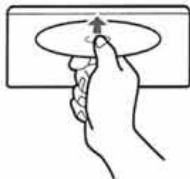
1. ^{パワー}[PWR]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、電源が入ったり切れたりします。

■ CDを聞く

1. CD挿入口にレーベル面を上にしてCDを挿入する

CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。

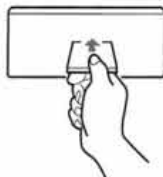


すでにCDがセットされているときは、[CD] ボタンを押してください。CDの演奏が始まります。

■ カセットを聞く

1. カセット挿入口にカセットを挿入する

カセットが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



すでにカセットがセットされているときは、[TAPE] ボタンを押してください。カセットの演奏が始まります。

■ ラジオを聞く

1. [FM/AM] ボタンを押す

ラジオの操作に切り換わります。

2. [FM/AM] ボタンを押す

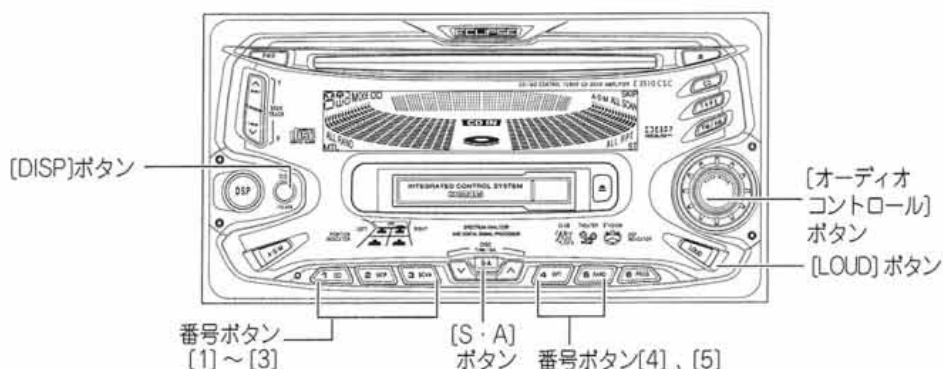
ボタンを押すごとにFM→AMが順に切り換わります。

3. [V ^] ボタンまたは[V DISC ^] ボタンを押す

^……周波数の高いほうへ移る

V……周波数の低いほうへ移る

[V ^] ボタンを押すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。任意の周波数に合わせたいときは、[V DISC ^] ボタンを押して手動で選択します。



■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す
左に回す……音量が小さくなる
右に回す……音量が大きくなる

■ その他

本機が持つその他の機能を説明します。

▼ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。

次の手順でガイドトーンが解除できます。

1. ^{ラウドネス}[LOUD]ボタンを長めに（1秒以上）押す
同様の操作でON/OFFが切り換わります。

▼スぺアナ表示機能

1. 「ピッ」という音がするまで[S・A]ボタンを長めに押す

ボタンを押すと、次の順に表示が切り換わります。

スぺアナ1 ノーマル



スぺアナ2 ピークホールド



スぺアナ3 オーロラ



▼時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM 0:00、正午はPM 0:00と表示されます。

1. ディスプレイ[DISP]ボタンを押す

時計表示に切り換わります。

2. ディスプレイ[DISP]ボタンを押しながら番号ボタン[1]～[4]のいずれかを押す

ディスプレイ[DISP]ボタンと任意の番号ボタンを同時に押し続けると、時間または分の表示が連続して増減します。

時間を調節します。

番号ボタン [1]…1時間減る

番号ボタン [2]…1時間増える

分を調節します。

番号ボタン [3]…1分減る

番号ボタン [4]…1分増える



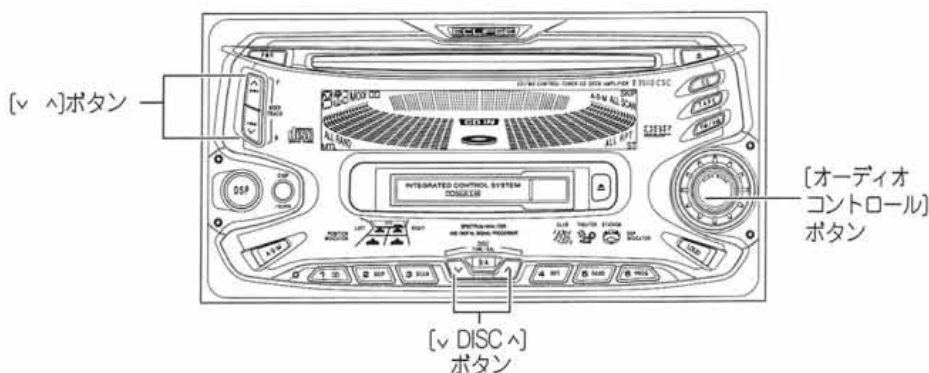
00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、ディスプレイ[DISP]ボタンを押しながら番号ボタン [5]を押します。

正時合わせは、30分単位で切り換わります。

例)

PM 3:29 → ディスプレイ[DISP]ボタン + 番号ボタン [5] → PM 3:00

PM 3:30 → ディスプレイ[DISP]ボタン + 番号ボタン [5] → PM 4:00



▼ オーディオコントロールモードの切り換え

各モードの微調整が行えます。

1. [オーディオコントロール]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。



EQ、POSITION、B/Fモードで調整中の場合でも、[オーディオコントロール]ボタンを左右に回して音量を変えられます。

EQモード

再生する音楽に合った周波数に調節します。詳細は、「EQの操作」(38ページ)を参照してください。

POSITIONモード

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では、4種類のポジションを設定できます。選択したPOSITIONモードに合わせてポジションセレクタのインジケーターが点灯します。



ALL (全席)……………① ② ③ ④

FRONT (前席) ……① ②

F・R (前席右) ……②

REAR (後席) ……③ ④

OFF (解除) ……なし

[V ^]ボタンまたは[V DISC ^]ボタンを押すごとに、設定が次の順に切り換わります。

^ ……OFF→F・R→FRONT→REAR→ALL

V ……ALL→REAR→FRONT→F・R→OFF

B (BALANCE) / F (FADER) モード

左右 (BALANCE)、前後 (FADER) のスピーカーのバランスを調節します。

[V DISC ^]ボタンを押したとき

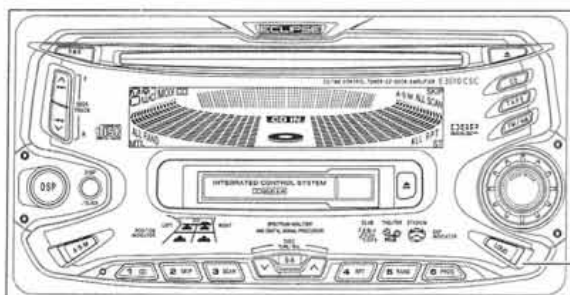
^ ……右のスピーカーを強調する

V ……左のスピーカーを強調する

[V ^]ボタンを押したとき

^ ……前のスピーカーを強調する

V ……後ろのスピーカーを強調する



[LOUD] ボタン

▼ ラウドネスの設定

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにラウドネスをONにすると、低、高音の不足感が補正されます。初期設定ではONに設定されています。

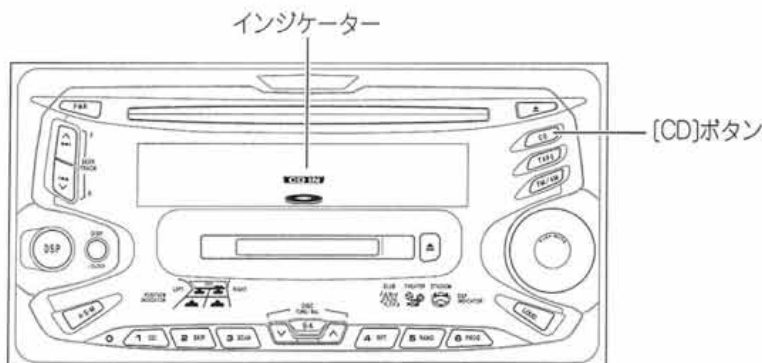
1. ^{ラウドネス} [LOUD] ボタンを短めに押す

ボタンを押すごとにON/OFFが切り換わります。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



◆ CD部の操作

ここでの操作は、すでにCDがセットされていることを前提に説明します。

■ CDを聞く

1. [CD]ボタンを押す

CDモードに切り換わり、演奏が始まります。

CDチェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとにCDプレーヤーとCDチェンジャーが切り換わります。



CDがセットされているときは、表示部中央に「CD IN」とインジケータが点灯します。

●注意●

CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。



■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1. [V ^]ボタンを押す

^ ……次の曲に進む

V ……演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(^方向)または早戻し(V方向)します。

■ 曲の始まりを演奏する(SCAN^{スキャン})

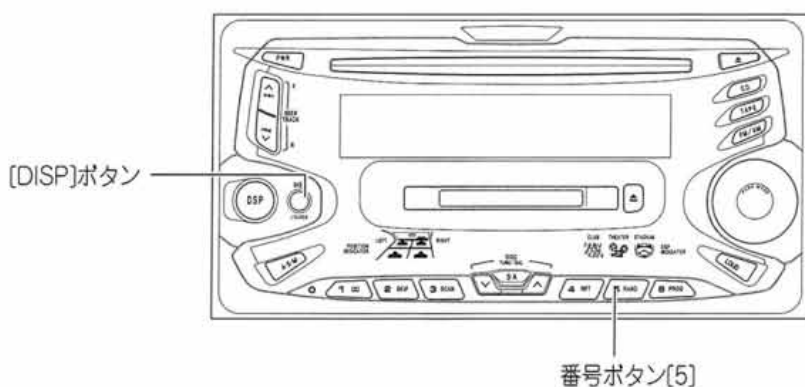
1. 番号ボタン [3]を押す

演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

■ 繰り返し演奏する(REPEAT^{リピート})

1. 番号ボタン [4]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。



■ 曲の順番を変えて演奏する^{ランダム}(RANDOM)

1. 番号ボタン [5]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

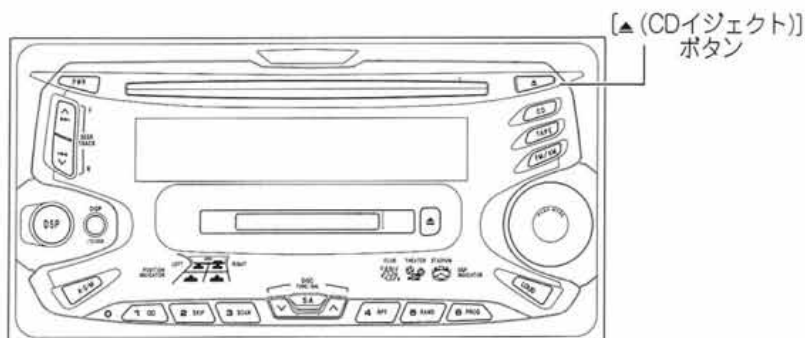


- ・ まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- ・ 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ CD演奏時の表示を切り換える

1. ^{ディスプレイ}[DISP]ボタンを押す

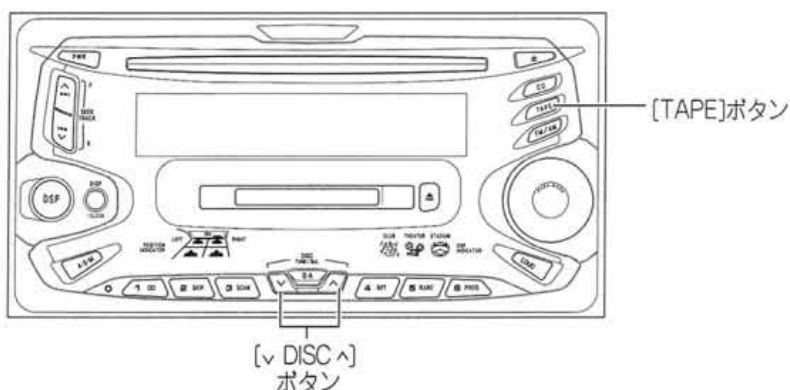
ボタンを押すごとにトラックNo.、経過時間→時計の順に表示が切り換わります。



■ CDを取り出す

1. [▲(CDイジェクト)]ボタンを押す

セットされていたCDが排出されます。



◆ カセット部の操作

ここでの操作は、[TAPE]ボタンを押してカセットモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにカセットをセットしていることを前提に説明します。

■ カセットを聞く

1. [TAPE]ボタンを押す

カセットモードに切り換わり、演奏が始まります。

メタルテープを装着すると、表示部にMTLと表示されます。

早送りや巻き戻し、自動選曲中にこのボタンを押した場合なども、動作が解除されカセットの演奏が始まります。

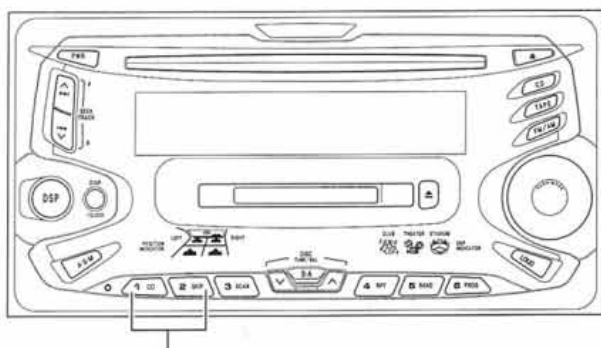
■ 早送り/巻き戻しをする

カセットテープを早送り/巻き戻します。

1. [v DISC ^]ボタンを押す

△を押すと早送りし、▽を押すと巻き戻します。

再度同じボタンを押すと早送りまたは巻き戻しが解除され、他のボタンを押すとその動作を行います。



番号ボタン[1]、[2]

■ ドルビーBで録音されたテープを使用する

1. 番号ボタン[1]を押す

ドルビーBのON/OFFが切り換わります。

■ 無録音部分を早送りする

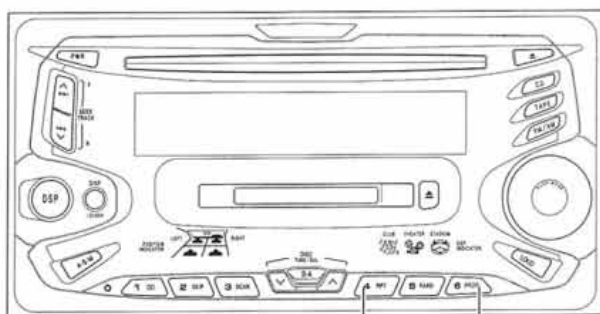
1. 番号ボタン[2]を押す

無録音部分が約15秒以上続いた場合、次の曲の頭まで早送りします。

再度、番号ボタン[2]を押すと解除します。



自動選曲の設定中は、本機能は動作しません。



番号ボタン[4]

番号ボタン[6]

■ 繰り返し演奏する(リピート REPEAT)

1. 番号ボタン[4]を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

再度、番号ボタン[4]を押すと解除されます。

●注意●

次のようなテープを使用すると、自動選曲が正常に作動しないことがあります。

- ・雑音の多いテープ
- ・曲間が3秒以下のテープ

■ テープ走行を反転させる

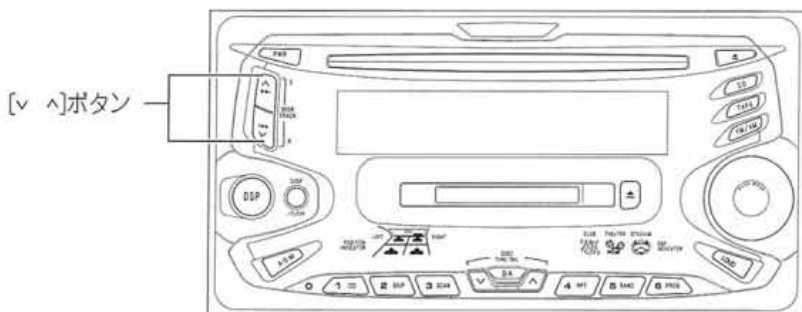
再生時、ボタンを押すごとにテープ走行を反転させることができます。

1. 番号ボタン[6]を押す

カセット再生面を反転後、演奏を開始します。



「曲の頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」を選択すると、表示部上部に「SCAN」、「RPT」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



■ 自動選曲を行う

次の曲の頭出しや、今お聞きになっている曲の頭出しができます。(最大9曲の自動選曲が可能です。)

ボタンを押した数だけ、下図のように曲を早送りまたは巻き戻します。

1.5秒以上ボタン操作を行わないと選曲が始まります。

1. [V ^]ボタンを押す

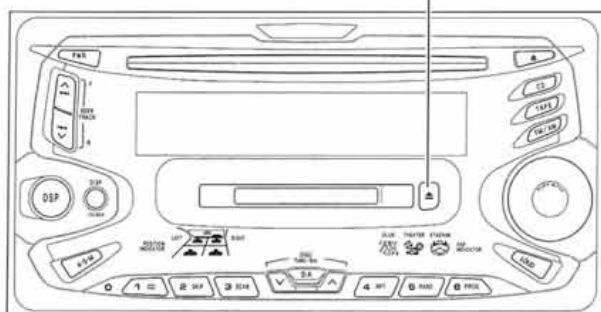


●注意●

次のようなテープを使用すると、自動選曲が正常に作動しないことがあります。

- ・雑音の多い録音テープ
- ・曲の初めと終わりが明確でないテープ
- ・曲間が3秒以下のテープ
- ・録音レベルの低いテープ

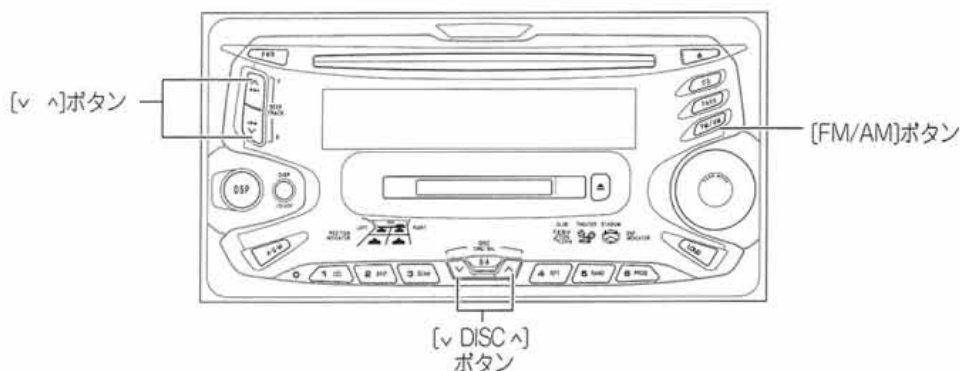
[▲(カセットイジェクト)]ボタン



■ カセットを取り出す

1. [▲(カセットイジェクト)]ボタンを押す

セットされていたカセットが排出されます。



◆ チューナ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶できます。
自動、手動それぞれAM6局、FM6局を記憶できます。

■ ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタン（プリセットボタン）を押すと記憶させた放送局を受信できます。

1. [FM/AM]ボタンを押す

ラジオの操作に切り換わります。

2. [FM/AM]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、FM、AMが切り換わります。

3. [v ^]ボタンまたは[v DISC ^]ボタンを押す

△……周波数の高いほうへ移る

▽……周波数の低いほうへ移る

[v ^]ボタンを押すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。任意の周波数に合わせるときは、[v DISC ^]ボタンを押して手動で選択します。



■ 自動的に放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1. 「ピッ」という音がするまで[A・S・M]ボタンを押す

「ASM」と表示され、オートプリセットモードに切り替わります。

受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に番号ボタン[1]～[6]に記憶されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

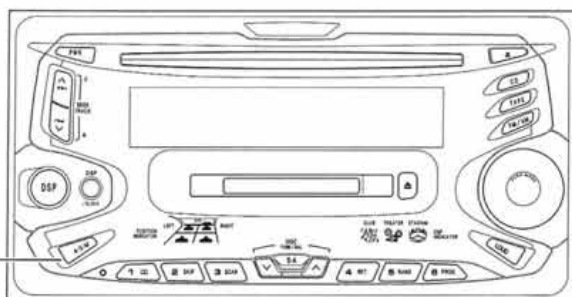


「ASM」と表示されている状態で[V H]ボタンを押して放送局を選び、「ピッ」という音がするまで任意のプリセットボタンを押して放送局を記憶させることもできます。

動作終了後は、最初に記憶された放送局を受信し続けます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。

[A・S・M]ボタン



ワンポイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ASM動作中、表示部下のインジケーターが左から右へスクロール表示され、点灯していきます。
- ・新しく放送局を記憶させると、その前に記憶された放送局はすべて消去されます。ただし、「手動で放送局を記憶させる」(33ページ)にしたがって記憶させた放送局は、消去されません。
- ・受信電波が6局未満のときは、残りのプリセットボタンには何も記憶されません。



■ 手動で放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1. 「ASM」と表示されていないことを確認する

表示されている場合は、[A・S・M]ボタンを押してオートプリセットモードを解除します。

2. [√DISC∨]ボタンを押して記憶させる周波数に合わせる

3. 「ピッ」という音がするまで任意の番号ボタン[1]～[6]を押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶され、表示部に周波数が表示されます。

このボタンをプリセットボタンと呼びます。

以後、ラジオをお聞きになる場合は、プリセットボタンを押してワンタッチで選局できるようになります。

●注意●

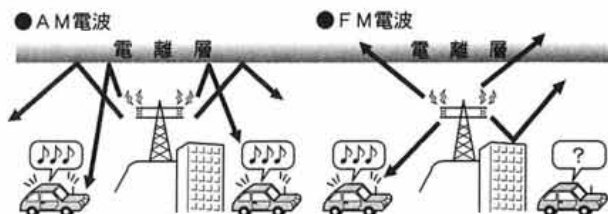
車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンを操作したときは、プリセットボタンへの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

■ FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



2. フェードアウト

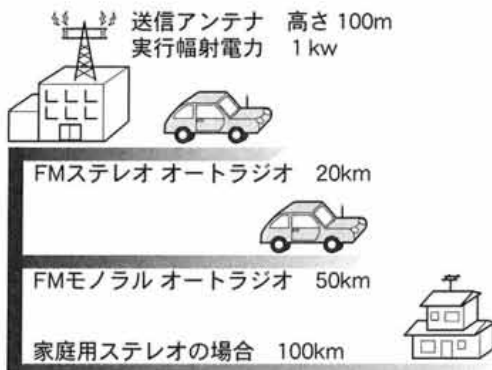
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャツ、シャツ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

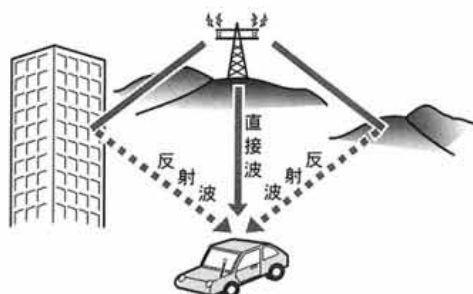


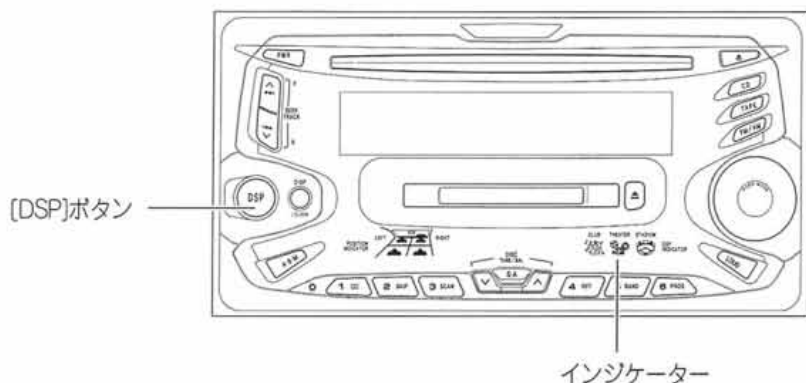
(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

4. マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。





◆ DSP/EQの操作

■ DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

[DSP]ボタンを押すと、次のようにDSPモードが切り換わります。



●注意●

各モードのレベルは調整できません。



選択したDSPモードに合わせてインジケーターが点灯します。





■ EQの操作

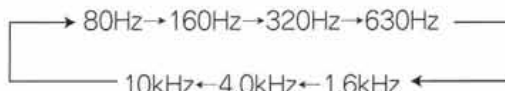
EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。

[オーディオコントロール]ボタンを押してEQモードに切り換えてから各操作を行います。

▼ 周波数を調節する

1. [V DISC ▲]ボタンを押す

次のように調整周波数が切り換わります。



[V ▲]ボタンでレベルの大小を調整します。

▲ ……大きくする

V ……小さくする

▼ EQを記憶させる

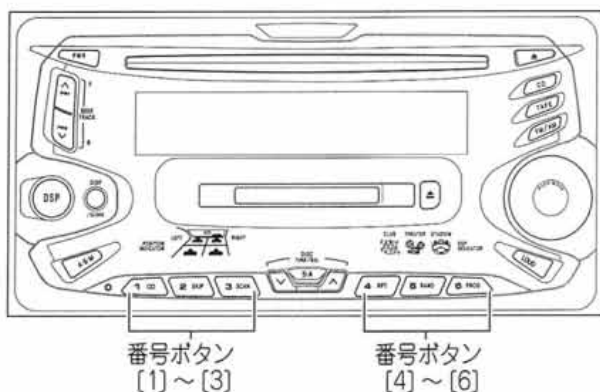
調整した周波数を記憶させます。

記憶させた周波数をプリセットパターンと呼びます。

1. 番号ボタン[2]～[6]のいずれかを2秒以上押す



番号ボタン[1]を押し続けると、番号ボタン[2]～[6]に最後に記憶させた



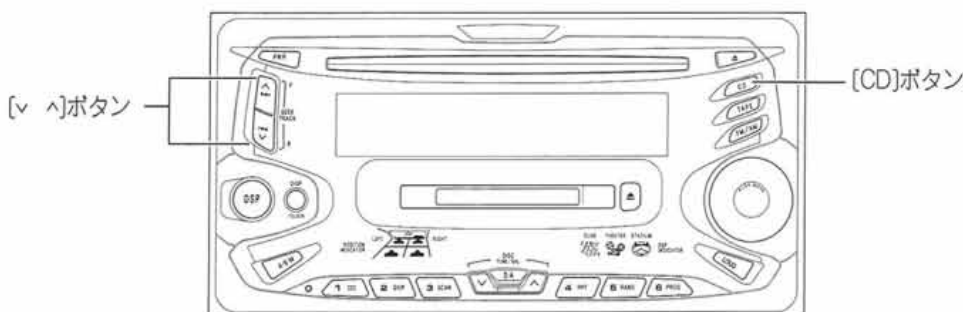
パターンがリセットされます。

▼ プリセットパターンを呼び出す

1. 番号ボタン[1]~[6]のいずれかを押す

記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。

番号ボタン[1]を押すと、DEFEAT(EQ OFF)状態になります。



◆ (別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

CDオートチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
チューナやMDから切り換えるときは[CD]ボタンを押してください。

■ CDに切り換える

1. [CD] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、CDプレーヤー→CDオートチェンジャー→MDオートチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクがセットされていない機器や接続されていない機器は表示されません。

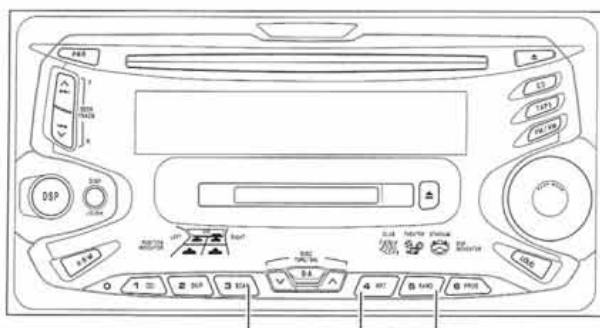
■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [V ^]ボタンを押す

△ ……次の曲に進む

▽ ……演奏中の曲の頭に戻る





番号ボタン [3] 番号ボタン[4]、[5]

■ 曲の始まりを演奏する(SCAN)^{スキャン}

1. 番号ボタン [3]を押す

演奏しているCD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、セットしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

■ 繰り返し演奏する(REPEAT)^{リピート}

1. 番号ボタン [4]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

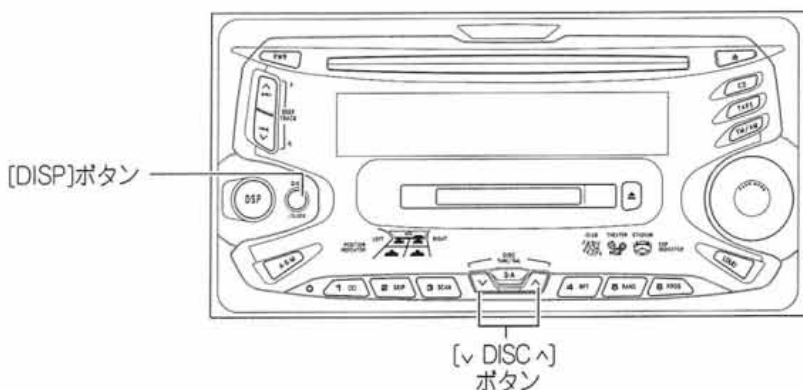
「ALL RPT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

■ 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)^{ランダム}

1. 番号ボタン [5]を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RAND」と表示されるまで押すと、セットしている全CD内の曲を順不同に演奏します。



- ・ まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- ・ 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ 次のCDに進む/前のCDに戻る

1. [vDISC^]ボタンを押す

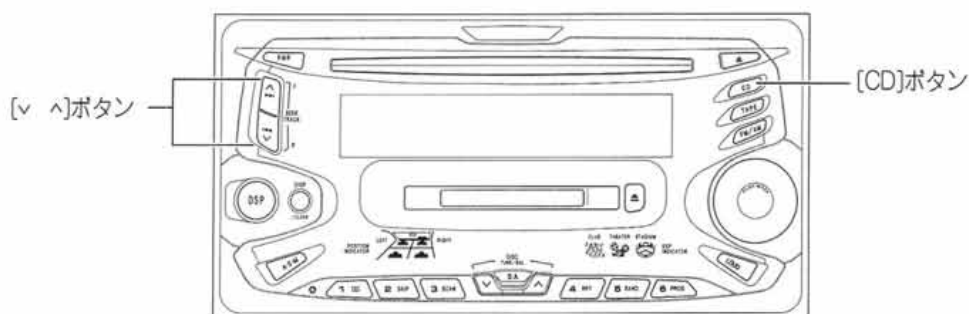
^ ……CD 番号が上のディスクへ移る

v ……CD 番号が下のディスクへ移る

■ 表示を切り換える

1. ディスプレイ [DISP] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、トラックNo.、経過時間→時計の順に表示が切り換わります。



◆(別売)MDチェンジャーを接続したときの操作

MDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
チューナやCDから切り換えるときは[CD]ボタンを押してください。

■ MDに切り換える

1. [CD]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、CDプレーヤー→CDオートチェンジャー→MDオートチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクがセットされていない機器や接続されていない機器は表示されません。

■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

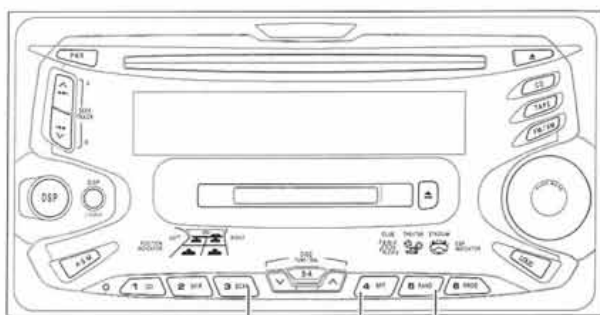
1. [V ^]ボタンを押す

△ ……次の曲に進む

▽ ……演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(△方向)または早戻し(▽方向)します。



番号ボタン [3] 番号ボタン[4], [5]

■ 曲の始まりを演奏する(SCAN)^{スキャン}

1. 番号ボタン [3]を押す

演奏中のディスク内の全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、セットしている全ディスクの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

■ 繰り返し演奏する(REPEAT)^{リピート}

1. 番号ボタン [4]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

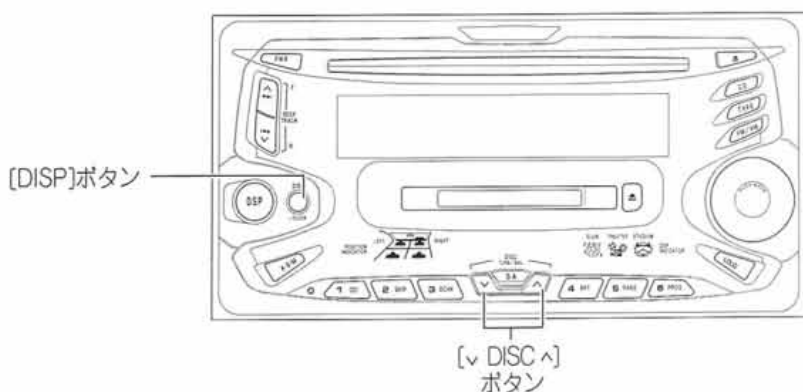
「ALL RPT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスク内の全曲を繰り返し再生します。

■ 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)^{ランダム}

1. 番号ボタン [5]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RAND」と表示されるまで押すと、セットしている全ディスク内の曲を順不同に演奏します。



「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ 次のMDに進む/前のMDに戻る

1. [v DISC ^]ボタンを押す

△ ……MD 番号が上のディスクへ移動

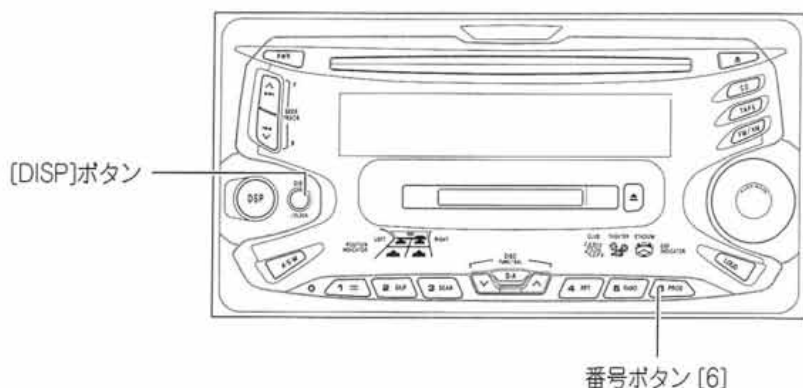
▽ ……MD 番号が下のディスクへ移動

■ ディスクタイトルや曲名を表示する

MDにディスクタイトル名や曲名が記録されているときは、それらを表示させることができます。最大12文字まで表示します。

1. ディスプレイ [DISP]ボタンを押す

タイトル名または曲名が表示されるまで切り換えます。



2. 番号ボタン [6]を押す

ボタンを押すと、ディスクタイトル→トラックタイトルの順にスクロール表示され、トラックタイトルを表示した状態で止まります。再度ボタンを押すと、ディスクタイトルからスクロール表示を始めます。

●注意●

- ・ MDにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・ 入力した機器によってタイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

■ 表示を切り換える

1. ディスプレイ [DISP] ボタンを押す

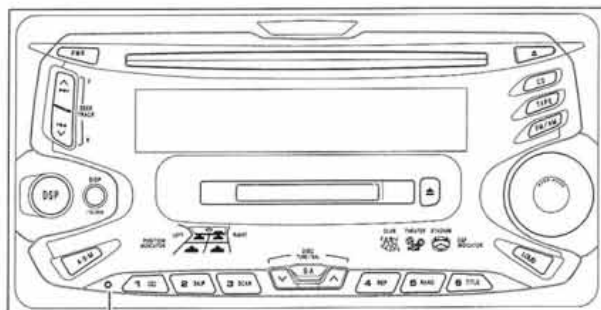
ボタンを押すごとに、トラックNo.、経過時間→タイトル→時計の順に表示が切り換わります。

◆ 困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

● 注意 ●

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったものでリセットボタンを押してください。



[リセット] ボタン

[リセット] ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

ディスクがセットされているときは、ディスクが排出されるので、ディスクを取り出してください。

■ インフォメーションが点滅する

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。
また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。
お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	オートチェンジャーのメカトラブル	オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	オートチェンジャーの内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。 それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

*この内容は、MDチェンジャーのみ適用されます。

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共 通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	16
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	18
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	31 33
		一度にたくさんの電装品を取り付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	16

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納された状態ではありませんか。 アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	30
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	30
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していますか。	機器の使用を停止すれば解消されます。 常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れても すぐ排出される。 または、ディスクが 排出されない。 ディスクチェンジが できない。	ディスクにラベルや シールなどを貼り付 けていませんか。	ディスクにはラベル やシールなどを貼り 付けないでくださ い。	7
		ディスクにバリや変 形、破損箇所はあり ませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてくださ い。バリのあるディ スクは、バリを取り 去ってご使用くださ い。 変形や破損したディ スクはご使用になら ないでください。	7 8
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚 れはありませんか。	他のディスクに入れ 替えてみてくださ い。 キズのあるディスク は、ご使用にならな いでください。	
		取付け角度は適正で すか。 取付けにガタはあり ませんか。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	
		悪路を走行されてい ませんか。	悪路を走行中の使用 は、できる限り避け てください。	6
		その他、ディスクに 記録されている音楽 ソースの音質やトラ ブルなどが考えられ ます。	ご購入の販売店にて 点検を行ってください。	

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
テープ	音が小さい。 音質が悪い。	ヘッドが汚れていませんか。	クリーニングテープを使用してヘッドを清掃してください。	12
		録音レベルは適正ですか。	適正なレベルで録音し直してください。 (自作テープの場合) 良品であることが判っている他のテープで確認してください。	
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音した音楽ソース(CD、テープなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	回転にムラがある。 テープを巻き込む。	テープにシワや伸びがありませんか。 また、120分テープなど長時間タイプのテープを使用されていませんか。	他のテープに入れ替えてみてください。 劣化したテープや長時間タイプのテープはご使用にならないでください。	11
	テープが入らない。 テープが排出できない。	テープのラベルがはがれかかっていますか。	テープが入らない場合は、テープのラベルを整えてください。 排出できない場合はご購入の販売店にて点検を行ってください。	11
		テープに変形や破損箇所はありませんか。	他のテープに入れ替えてみてください。 変形や破損したテープは、ご使用にならないでください。	

◆仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	96dB
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

カセット部

周波数特性	30～18,000Hz、±3dB
ダイナミックレンジ	90dB
S/N(IHF-A)	ノーマルテープ54dB ドルビー(B)NR ON時62dB以上
ワウ・フラッタ	0.08% WRMS

チューナ部

受信周波数	AM522～1629kHz FM76.0～90.0MHz
実用感度	AM22 μ V(S/N20dB時) FM12dBf(S/N30dB時)
周波数特性	30Hz～15kHz(FM)
ステレオセパレーション	38dB

共通部

調整周波数	80Hz, 160Hz, 320Hz, 630Hz, 1.6kHz, 4kHz, 10kHz
トーン変化量	±8dB
ラウドネス	・ 100Hz+8dB ・ 10Hz+6dB
最大出力	35W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	250mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11~16V)、⊖ アース専用
消費電流	1W×4出力時 約3A、最大約13A
寸 法	200mm(幅)×100mm(高さ)×155mm(奥行)
重 量	本体約2.2kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

◆ アフターサービスについて

1. 販売店でお渡しする保証書は、かならず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をその場でお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 故障かなと思ったときは、修理に出す前に本書の「困ったときは」をご覧ください。
うえ、もう一度お調べください。それでも問題が解決しない場合は、次の要領でお問い合わせください。
 - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
* 修理、点検における商品の脱着費用は、保証期間内でも基本的に有償となります。
 - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
お客様のご希望により、有料で修理いたします。
4. 出張による修理および点検はおこなっておりません。
かならずお買い求めの販売店にお持ち込みください。
5. この商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先

〈修理に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

富士通テン北海道(株)	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字箕宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
仙台支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(076)222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号 (サウスポート静岡13路)	(054)203-0090	静岡
富士通テン関西(株)	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078)811-2451	兵庫
大阪支店	〒571-0064 大阪府門真市御堂町3番23号	(06)6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西露町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松営業所	〒760-0034 高松市内1番13号(日新内町ビル)	(087)822-1411	四国地区
富士通テン西日本(株)	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号(スカイビル)	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

〈商品の機能・操作に関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉

【お客様相談窓口】

富士通テン北海道(株)	(011) 821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	(03) 3366-3833	東北、関東、甲信越地区
富士通テン中部(株)	(052) 581-8726	中部、北陸地区
富士通テン関西(株)	(078) 811-2451	近畿、中国、四国地区
富士通テン西日本(株)	(092) 511-3252	九州全域、沖縄
富士通テン(株)本社	0120-022210	

受付時間：午前10：00～12：00 午後1：00～5：00
(土・日・祝日などを除く)

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸(078) 671-5081(代表)

090002-2390A700

0001MT (N)